

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称 うるおいの大地）」は、信託約款の規定に基づき、償還となりました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末(2025年2月14日)

| | |
|------------|------------|
| 償還価額 | 10,772円76銭 |
| 純資産総額 | 510百万円 |
| 第20期 | |
| 騰落率 | △ 1.0% |
| 分配金(税引前)合計 | －円 |

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報「償還ファンド運用報告書」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

為替ヘッジ付ソブリン／ 農業関連オープン (愛称 うるおいの大地)

追加型投信／内外／資産複合

【償還】

作成対象期間：2024年8月15日～2025年2月14日

交付運用報告書

第20期(償還日2025年2月14日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

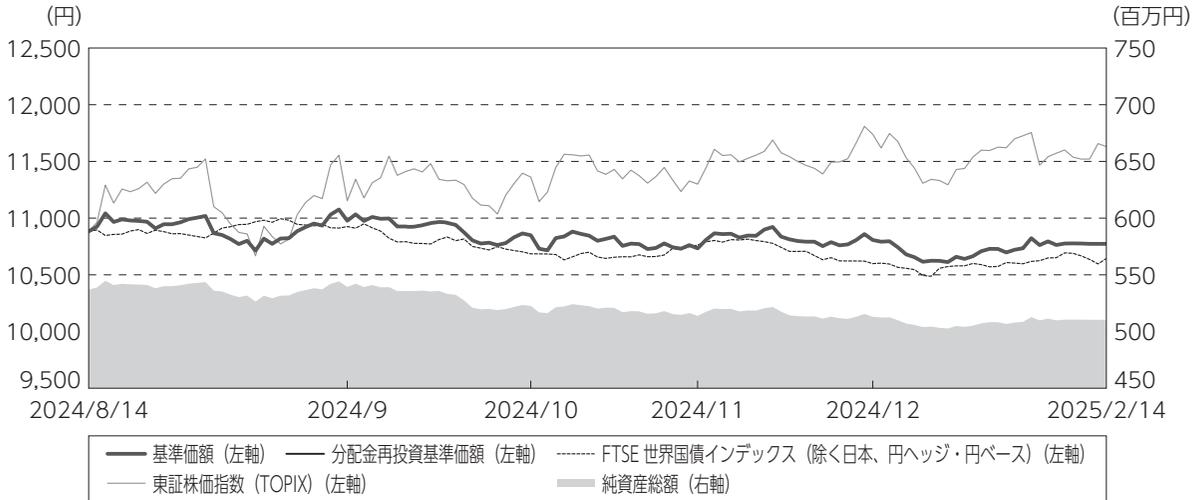
■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年8月15日～2025年2月14日)



期 首：10,883円

期末(償還日)：10,772円76銭 (既払分配金(税引前)：-円)

騰 落 率：△ 1.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)および東証株価指数(TOPIX)です。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の「当ファンドの参考指数について」をご覧ください。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2024年8月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当期間においては、「Invesco DB Agriculture Fund」がプラスに寄与したものの、「為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)」と「農業関連日本株マザーファンド」がマイナス要因となり、当期間中の当ファンドの基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年8月15日～2025年2月14日)

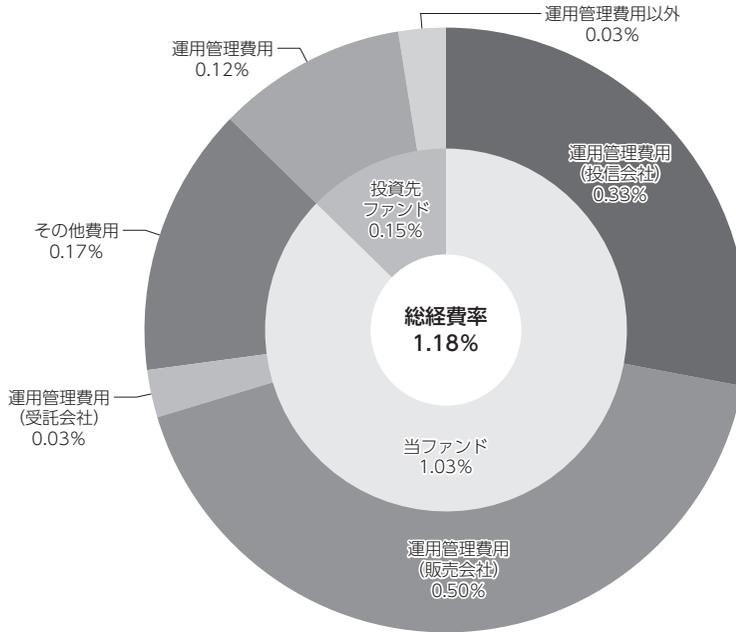
| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|-----------------------------|--|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 47 (18) (27) (2) | 0.433 (0.166) (0.250) (0.017) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 8 (6) (2) | 0.075 (0.057) (0.018) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) | 0.000 (0.000) | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) | 9 (9) (1) | 0.085 (0.079) (0.007) | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 64 | 0.593 | |
| 期中の平均基準価額は、10,863円です。 | | | |

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



(単位: %)

| 総経費率(①+②+③) | 1.18 |
|----------------------|------|
| ①当ファンドの費用の比率 | 1.03 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.12 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.03 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

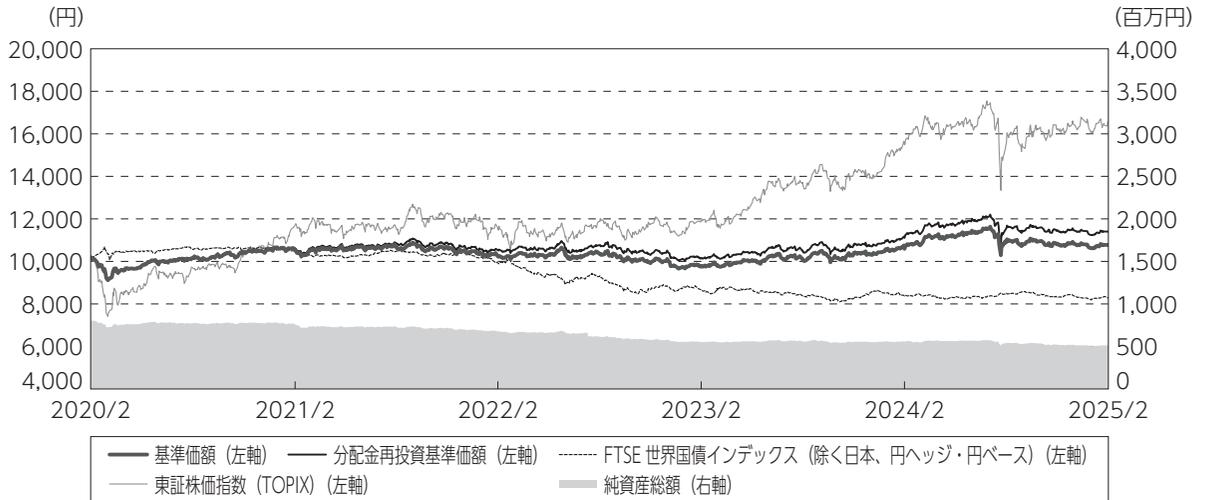
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年2月14日～2025年2月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)、東証株価指数(TOPIX)は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年2月14日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2020年2月14日 期初 | 2021年2月15日 決算日 | 2022年2月14日 決算日 | 2023年2月14日 決算日 | 2024年2月14日 決算日 | 2025年2月14日 償還日 |
|---------------------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,201 | 10,516 | 10,237 | 9,787 | 10,590 | 10,772.76 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 100 | 200 | 100 | 100 | 100 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 4.1 | △ 0.8 | △ 3.5 | 9.2 | 2.7 |
| FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)騰落率 (%) | — | 2.7 | △ 5.2 | △ 12.6 | △ 3.6 | △ 0.7 |
| 東証株価指数(TOPIX)騰落率 (%) | — | 14.7 | △ 1.2 | 3.2 | 29.7 | 6.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 809 | 758 | 675 | 552 | 552 | 510 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2024年8月15日～2025年2月14日)

投資国の債券市場では、米国経済の底堅さを示す経済指標が相次いだことに加え、米大統領・議会選挙において共和党が大統領と上下両院の多数派を占めるトリプルレッドとなったことなどを背景に2024年11月中旬にかけて米国債主導で利回りが上昇（価格は下落）する展開となりました。その後、トランプ氏の政権運営に対する不透明感が強まったことや、欧州の景気指標が悪化したことなどから利回りが低下（価格は上昇）する場面も見られました。しかし、12月中旬以降は米連邦公開市場委員会（FOMC）において今後の利下げペースの鈍化が示されたことや、ユーロ圏においてはドイツの政局不安が強まるなか、財政赤字の悪化が懸念されたことなどから、再び利回りが上昇する展開となりました。

国内株式市場は、期初から2024年8月末まで回復した後、9月半ばにかけて下落し、その後9月末にかけて回復と、9月いっぱいまでは荒い値動きとなりましたが、10月以降は狭い範囲内でもみ合う展開となり、償還を迎えました。9月半ばまでは円高進行が懸念材料となりました。10月以降は、日本国内での衆議院選挙、米国での大統領選挙および議会選挙などが政治的な不透明要因となりましたが、堅調な企業業績や上場企業による自社株買いなどが株価の下支え材料となりました。

農産物市場は上昇しました。トウモロコシや大豆は、南米の主産地で天候不順による減産観測が強まったことから上昇しました。また、コーヒー豆やカカオ豆も、それぞれの主産地であるベトナムおよびブラジル、コートジボワールの天候不順による減産観測を背景に需給が引き締まるとの観測が強まり、急騰しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年8月15日～2025年2月14日)

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ETF）の組入比率の合計が40％程度となるように組入れを行いました。

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」では、ドイツ、米国、カナダ国債の組入比率を相対的に高位に維持しました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分の調整を行い、当期間におきましては中長期債中心の保有としました。また、2025年1月7日にファンドの償還に向けて、保有債券を売却し、安定運用へ移行しました。

「農業関連日本株マザーファンド」では、重電、重機、化学、総合商社などの大型株を中心に運用を行いました。

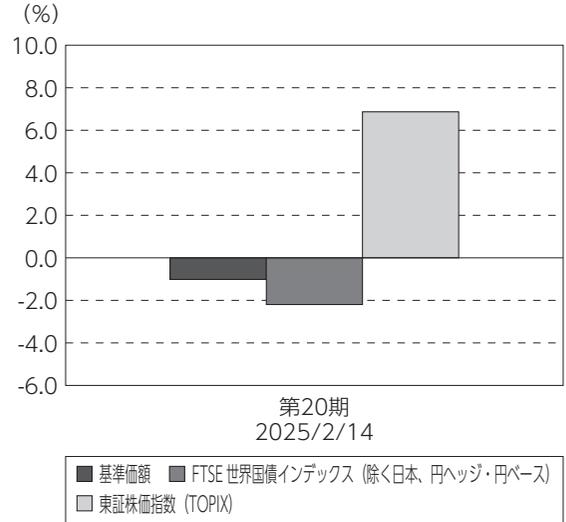
ETFにつきましては、Invesco DB Agriculture Fundの組入れを継続しましたが、ファンドの償還に対応するため2025年1月7日に全売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年8月15日～2025年2月14日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



(注) 参考指数は、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース)、東証株価指数 (TOPIX) です。

お知らせ

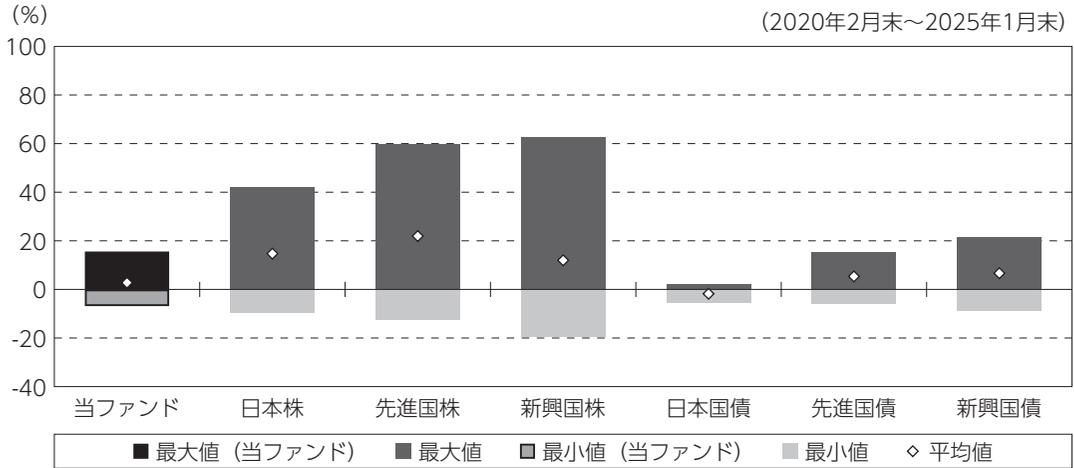
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | | |
|---|---|---------------------------|--------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | | |
| 信託期間 | 2015年2月23日から2025年2月14日までです。 | | |
| 運用方針 | <p>投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産について、先進国のソブリン債には原則として為替ヘッジを行い、世界の農業に関連する指数には原則として為替ヘッジを行いません。</p> | | |
| 主要投資対象 | 各資産への投資にあたっては、以下の投資信託証券を通じて行います。 | | |
| | 投資対象資産 | 投資対象とする投資信託証券 | 組入比率 |
| | 先進国のソブリン債 | 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用） | 60%程度 |
| | 農業関連の日本株式 | 農業関連日本株マザーファンド | 40%程度* |
| 世界の農業に関連する指数 | 上場投資信託証券（ETF） | | |
| ※指数に連動することを目指すETFの組入比率は、原則として10%以内とします。 | | | |
| 運用方法 | <p>先進国のソブリン債への投資にあたっては、FTSE世界国債インデックス（参考市場を含む）の採用国のうち、取得時において、AAA格相当のソブリン債を投資対象とし、ポートフォリオ全体のデュレーションは原則として8年以内とします。</p> <p>わが国の株式への投資にあたっては、農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。</p> <p>世界の農業に関連する指数への投資にあたっては、原則として世界の農作物等によって構成される指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて行います。ETFの銘柄選定については、実質的な投資対象、ETFの流動性、コスト等を勘案して決定します。</p> | | |
| 分配方針 | <p>毎年2月14日および8月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p> | | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 15.6 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 2.3 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 6.9 | △ 9.5 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 8.8 |
| 平均値 | 2.8 | 14.7 | 21.9 | 12.0 | △ 1.8 | 5.3 | 6.7 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年2月14日現在)

有価証券等の組入れはございません。

純資産等

| 項 目 | 第20期末(償還日) |
|-------------|--------------|
| | 2025年2月14日 |
| 純 資 産 総 額 | 510,316,492円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 473,710,066口 |
| 1万口当たり償還価額 | 10,772円76銭 |

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は19,606,935円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、S B I 岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income,LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはS B I 岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

TOPIX(以下、「東証株価指数(TOPIX)」)といっています。)の指数値及び東証株価指数(TOPIX)に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。